

若手研究者の文献利用環境を巡る問題と 図書館へのニーズ

大学院生数の増加に伴い、若手研究者の就職問題が顕になっています。そうした中、不安定な身分のまま、教育・研究活動を続ける必要に迫られながら、文献利用環境に恵まれない現状を指摘する声があがっています。今回は、こうした「若手研究者問題」に取り組んでいる講師をお招きし、図書館と若手研究者の関わりを考える機会を設けます。

講師 崎山 直樹 氏
(千葉大学普遍教育センター)
菊池 信彦 氏
(国立国会図書館関西館)

日時 2014年1月25日(土)
14:00-17:00

会場 キャンパスプラザ京都
第1会議室(2階)
JR「京都」駅下車中央口より徒歩3分
(JR京都駅ビル駐車場西側)

参加費 無料

※本ワンディセミナーは日本図書館研究会の第302回研究例会との合同開催です。

申込 大図研京都ワンディセミナー申込フォーム 申込期限: 1月21(火)
<http://www.daitoken.com/kyoto/event/20140125.html>

※ 申込無しの当日参加も可能ですが、資料の準備や懇親会会場確保のため、なるべく締切までのお申し込みをお願いします。

(会場の収容定員を上回る参加希望があった場合、入場をお断りすることもあります)

※ 終了後懇親会を予定しています。

参考資料

- ▶2013年5月12日(京都)アンケート調査報告会
- ▶西洋史若手研究者問題検討グループ
「西洋史若手研究者問題アンケート調査—中間報告書」(2013年3月)
- ▶崎山直樹
「崩壊する大学と『若手研究者問題』—現状分析と展望」『歴史学研究』第876号(2011年2月)
- ▶菊池信彦
「若手研究者問題と大学図書館界—問題提起のために」『カレントアウェアネス』第315号(2013年3月)

共催：大学図書館問題研究会 京都支部
日本図書館研究会

照会：京都支部 支部委員会(kyoto@daitoken.com)